

大雨・台風等による JR 運行見合わせ時の対応について

1 登校時、JR が運行見合わせになった場合

(1) JR 通学生

- ア 列車に乗車する前であれば、JR の運行再開の情報が入るまで、自宅又は駅で待機する。
- イ 列車に乗車した後であれば、JR の運行再開まで、列車内または停車駅で待機する。ただし、運行再開までの見通しが立たず長時間の待機が求められる場合は、必要に応じて保護者と連絡を取り、保護者に迎えに来てもらった上で、自宅待機に変更しても良い。
- ウ JR の運行再開後、安全に留意しながら登校する。

※ 途中の駅まで JR が運行していたとしても、無理をして登校しない。薩摩今和泉駅まで到着できる列車が運行していない限り、自宅又は駅で待機する。

(2) JR 通学生以外（自転車・単車・徒歩・自家用車等で通学している生徒）

薩摩今和泉駅を通過する列車が上下線とも運行していない場合は、運行再開の情報が入るまで自宅待機する。その他の場合は、安全に留意しながら登校する。

(3) 注意事項

- ア 5:00～5:45 の時点で、運転見合わせ区間が発生している場合は、「メール連絡網」で 5:30～6:00 にお知らせする。6:00 以降、すでに一部の生徒が列車に乗車している時間帯に、運行見合わせ区間が発生した場合は、その都度「メール連絡網」で連絡する。
- イ 全校生徒は、JR 九州の運行状況を HP 等でも確認しておき、学校からのメール連絡網が配信されたら内容を確認する。判断に迷ったら、保護者（又は生徒）は、学校（又は担任）に確認してください。
- ウ 運行再開の見通しが立たない場合、休校等の判断は 10:00 までに「メール連絡網」で連絡する。
- エ 自宅から駅又は学校までの間に危険箇所があり、駅又は学校まで行くことが困難である場合は、それらの影響がなくなったことと、JR の運行再開の情報を確認してから登校すること。

2 登校後、JR が運行見合わせになった場合

以後の天候予報及び JR からの情報を基に、授業措置などを決定し、安全な下校を確保する観点から早めに下校させる場合もある。その場合、保護者に向けて「メール連絡網」で連絡する。